

「再生」へ、加速！

かつて「日本一の商店街」と称された柳ヶ瀬商店街。しかし、日常生活においての自動車利用の普及や、周辺市町における大型店やロードサイド店の進出、更には中心市街地からの大型店撤退など厳しい環境変化のなか、その名の勢いは様変わりしていきました。

そんな柳ヶ瀬を再び活気付けようと、さまざまな取り組みが行われてきました。近年では、街のファン創出を目指したマルシェ「サンデービルディングマーケット」をはじめとする物販イベントが定期開催されるなど、新たな時代の商店街を目指した賑わい創出が図られています。

そして今、これまでの「柳ヶ瀬再生」のギアを更にアップさせ、猪突猛進すべく立ち上がった人がいます。

岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会の若き理事長、水野琢朗さん。水野さんが思う「柳ヶ瀬の今、柳ヶ瀬のこれから」とは。その再生構想について伺いました。



岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会
理事長 水野 琢朗さん

「柳ヶ瀬は、これまで演芸の街、映画の街、ショッピングの街などと、その時代その時代で客が求めるニーズに合わせて形を変容してきた街です。しかし、今の柳ヶ瀬は『変化を忘れてしまった街』になってしまっていると感じます。かつての活気のあつた時代から軌道修正できていないのです。街は人間よりも長生きします。街が機能し続けるためには、その先を見据えた商店街の形を見出すことが必要です。長い時間からみれば、現在は点でしかないのですから」

そう語るのは、水野 琢朗さん、三十六歳。令和六年四月から岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会の理事長に就任しました。多治見市の出身で、岐阜に居を構えて今年で九年が経ちました。サラリーマン生活のなか、ある時「オーダースーツ」を作ったことがきっかけで、テラーにあらがれを持つようになり、修行の道へ。独立もと考えていたので、一年半ほどの修業後、独立し店を構えようと考えたのが岐阜との縁のはじまりでした。岐阜駅前前で探すうちに、理想に近い物件が柳ヶ瀬で見つかり、平成二十八年に柳ヶ瀬商店街でオーダースーツ店を創業、現在に至ります。

「柳ヶ瀬について知っていた情報は、商店街の関係者や若い方が積極的にイベントを行っていてポテンシャルの高い街だということでした。いざ訪れてみた際の第一印象も、結構人通りがあるな、と。衰退したと言われているようなイメージのイメージは全くありませんでした」

「現役」であり続ける街

「柳ヶ瀬商店街の人通りは、減り続けていると言われていますが、実は十年前とそれほど変わっていません。実際、私がお店を開くにあたって初めて柳ヶ瀬に来た時も、人が集う街だと感じました」

それでも、年々衰退していると感じているのは何故なのか、水野さんはこう分析します。「商店街の賑わいを全国レベルでみると、柳ヶ瀬商店街は今も十位以内に入ると思います。年長の人たちは柳ヶ瀬の全盛期を知っています。そこを基準に、今を『衰退』したと表現しているのです。昼の顔も夜の顔も持っている魅力的な街。かつては『日本一』の商店街だったことに、もつと誇りをもつべきです。何十年たってもずっと現役。しかも柳ヶ瀬商店街の名は全国に知られています。こんな商店街、他にあるでしょうか」

「オリジナリティ、個性」の街へ再生

しかし、新しい変化を切り開いていくには、更なる手立てが必要だと強く訴えます。

「今、出店を希望する人は若者がほとんどです。彼らは柳ヶ瀬を『自分の世界観を表現できる店を出すことが出来る街』だと捉えています。これからは、自分のオリジナリティ、自分にしか出せない個性を自ら作り上げることが出来る人が、この街を創っていくようになるのではないのでしょうか」

また、消費者の購買行動の様相は、次の段階に入っていると分

析します。「郊外、ロードサイドの大型ショッピングセンターがその例です。かつては大人気でした。しかし時代と共に流行は変わり、どこへ行っても同じだと感じるようになり、物足りなくなりました。どこにでもあるものなら実際に手に取る必要もなく、ネットで購入しても構わなくなっています。むしろその方が便利です」

人口の都心回帰の動きも相まって、今こそ我々にチャンスが来た、我々こそ勝機があると、水野さんは力を込めます。

「二十年〜三十年周期で流行は巡ります。年代によっては古臭く感じる柳ヶ瀬商店街も、若い人たちにはその「レトロ」感が逆に新鮮にも感じています。しかし古いだけの商店街があればよいというわけではないのです。お客さんは古いけどオシャレ、新しいからオシャレ、それらを併せ持った現代的な感性を備えた店を求めています」

それに応えることができるのが「柳ヶ瀬商店街」。だからこそ水野さんは再生の可能性を信じています。

「柳ヶ瀬商店街はその時代に合わせた顔を見せてきました。昔から新しい感覚を持った人が飛び込みやすい街なのです。これからはお

洒落でオリジナリティあふれる店舗づくり、内装それらすべてをブランド化できる若い力が新しい柳ヶ瀬を、新しい形を作っていくのです」

そんな店が増えていけば、次はその空間に自分も出店したい、買いたい物がないなど関わりを求めて柳ヶ瀬へ出向く人たちができる。そんな行動が新たな柳ヶ瀬の顔をつくるきっかけ、再生への「道しるべ」になると語ります。

何でもできる「挑戦」の街

「今、柳ヶ瀬に足を運んでくれる若い人の多くは、昔の柳ヶ瀬を知りません。良かった、衰退した、そんなことはどうでもよくて、今しか知らないから変化も自然に受け止めるのです。そんな力が若者にはあります」

変化を拒むことはしない世代が求めているものは、新しい感覚を受け入れる街なのです。

「自分の個性を大切にしたい、自分の好きなことに挑戦することに思い切りがよい世代。そんな世代の若い人たちが柳ヶ瀬に店を出店してくれています。彼らにとって柳ヶ瀬商店街は、何でもできる「挑戦」の場だと捉えているからです。私たちより若い年代は大きく二つ特徴があります。一つ目が

思春期にはインターネットなどでデジタルデバイスがすでに生活の一部だったこと。二つ目は、今の日本しか知らないため変化に抵抗感がないことです。昔はどうだったとか昔はよかったとか過去が通じません。それ故にステータスよりも、自分の感覚や感性を大切にしながら、自分の価値観にもとづき、今を愉しんでいる世代が新しい柳ヶ瀬を彩る店を創っていつてくれます」

.....

「今、柳ヶ瀬のリーダーに私が就いたのには意味があると思っています。三〇代半ばという年齢は、ちょうどいいのです。上の世代の方からしても、若手が頑張っているから応援したいと思つて頂きやすく、二〇代の自分よりも下の世代からは年が近いので相談がしやすい。そして自分自身も若いので行動的に色々挑戦ができる。様々な世代を巻き込み、変化をしなければいけないタイミングの柳ヶ瀬にとって、このちょうど良い年齢である私がリーダーを受けられることはある種、必然であったのかなとも思っています。これまでの経験や知識など、より多くの皆さんから忌憚なき意見やサポートをいただきながら、変化の激しいこの時代に生き残りをかけていきたいの

です」

柳ヶ瀬はそれが出来る、私はそれを叶えていくと、水野さんは力強く語ります。

一緒に柳ヶ瀬再生を！

「柳ヶ瀬が衰退したと嘆く世代は、柳ヶ瀬が大好きだった世代でもあります。柳ヶ瀬の再生は、きっと多くの皆さんが楽しみにしているはずですよ。そんな方々に是非、柳ヶ瀬に来ていただきたいです。一緒に街を楽しみながら、街の変化、柳ヶ瀬再生に参加していただきたいです。きつとこの街が真に盛り返せた時、『自分も一緒に変えた』というプライドにつながります」

水野さんは、そう確信しています。



岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会
住所 岐阜市柳ヶ瀬通2-3 アンゴラービル2F
TEL 058-262-6261
FAX 058-262-6264

